

1. 件 名：原子力事業者防災訓練の意見交換

2. 日 時：令和2年1月29日 13:30～15:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

佐藤防災専門官、蔦澤専門官、川原防災専門職

東京大学大学院工学系研究原子力専攻

総務課東海T副課長、その他1名

5. 要 旨

東京大学大学院工学系研究原子力専攻が令和元年12月20日に実施した原子力事業者防災訓練に対する当庁気付き事項及び事業者抽出課題について原因と対策への意見交換を行った。

主なものとして、以下のような意見があった。

- ・ 事象の進展予測（今後の見込み）が明確に情報共有されなかった
- ・ 大地震（震度6）発生時における初期情報の項目が十分でなかった
- ・ モニタリングポスト値の上昇による特定事象の判断以降、その値の変動状況について継続的な報告がなされなかった
- ・ 応急措置計画シートについて、措置の実績を反映した更新シートが作成されていなかった
- ・ 通報文について誤記があり、また目標時間内に送信できず遅延した原子力規制庁より、これら意見を踏まえ、課題事項に対する原因について深掘りするとともにその対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

6. その他

配布資料：

資料－1 訓練課題対応資料